

高等技術専門校評価システム<評価表>

熊谷高等技術専門校

機械科

評価項目		指標	評価	コメント
1 訓練内容 必要な技能・知識を習得させるための訓練内容が設定され、実施されている。	(1) 生活指導 あいさつができる、遅刻・欠席が少ないなど、生活指導が適切である	出席率 90%以上	(a) b c 出席率: 92.0% 【R4年10月・入校生】 出席率: 98.6% 【R5年4月・入校生】	(1)生活指導 始業・終業時に大きな声で挨拶をする。社会人としての規律を守ることなど、日々の生活指導を通じて習慣付けを行っている。その結果、就職先企業から高い評価をいただいている。 (2)訓練生満足度 幅広い世代や様々な経験を持つ訓練生が受講しているため、個々に応じて指導方法を工夫し、理解度の向上に努めている。
	(2) 訓練生満足度 訓練内容に対し、訓練生の満足度が高い	満足度 90%以上	a (b) c 満足度: 76.5% 【R5年度平均】	
2 応募・入校状況 入校者が定員を充足している	(1) 応募状況 応募倍率が1.25倍以上である	応募倍率 1.25倍以上	a (b) c 応募倍率: 1.2倍 【R5年4月・入校生】 応募倍率: 0.9倍 【R5年10月・入校生】	応募・入校状況 就職は、人手不足による売り手市場であり、希望する企業への就職が期待できる状況である。しかし、機械系の仕事を旨く受講生が減少しており、入校生の確保に苦心している。効果的な広報手段の一つとして、ハローワークや高校で開催される説明会に積極的に参加し、製造業の魅力を発信するよう努めている。
	(2) 入校状況 入校者が定員を充足している	入校率 100%	a (b) c 入校率: 90% 【R5年4月・入校生】 入校率: 70% 【R5年10月・入校生】	
3 就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と連携を図り、雇用情勢の情報収集や訓練生に対する相談、指導等の就職支援がなされている	(1) 就職状況(確定値) 就職率が100%である	就職率 100%	(a) b c 就職率: 100% 【R5年4月生修了生】 就職率: 100% 【R4年10月生修了生】	(1)就職状況(確定値) 製造業の人手不足もあり、多くの求人いただいている状況である。幅広い年齢層の訓練生が受講しており、各々の生活状況なども考慮した上で、採用条件の調整に苦心することもあるが、企業開拓を随時行い、可能な限り訓練生の希望に沿う企業とのマッチングに努めている。 (2)就職状況(追指導最終値) 修了時点で全員が就職できている。 (3)就職状況(訓練関連率) 製造業の人手不足もあり、全員が訓練に関連する職種に就職している。
	(2)就職状況(追指導最終値) 就職率が100%である ※ 前年度修了者	就職率 100%	(a) b c 対象者なし 【R4年4月生修了生】 対象者なし 【R3年10月生修了生】	
	(3) 就職状況 訓練関連率(訓練を活かした就労率)が80%以上である	関連就職率 80%以上	(a) b c 関連就職率: 100%	
4 資格取得状況 訓練科ごとに適切な資格取得目標が掲げられ、資格が取得されている	・ 資格取得状況 訓練科ごとに適正資格取得目標が掲げられ、資格が取得されている	受検者合格率 埼玉平均以上	(a) b c 普通旋盤3級合格率: 100% ①【R5年4月生修了生】 普通旋盤3級合格率: 100% ②【R4年10月生修了生】	受検者合格率 埼玉平均 ①R5年度前期: 86.5% ②R5年度後期: 72.7%

a: 優れている b: 良好である c: 改善を要する

総合評価	
(A) 優れている B: 良好である C: 一部改善を要する D: 総合的な見直しを要する	
<p>・機械科は、3項目でb評価であるが、他の5項目が指標を達成しa評価であったため、総合評価をAとした。</p> <p>・訓練内容評価については、訓練生の年齢や基礎学力が大きく異なるため、習得度に応じたきめ細かな指導と就職支援を行い、さらなる満足度向上に努めていく。</p> <p>・応募倍率と入校率については課題を抱えている。募集活動では頻りにハローワークおよび高等学校を訪問し、担当者との円滑な関係を築いている。そのため、ハローワーキング説明会や高校の職業説明会での広報の機会を多くいただいております。製造業および専門校機械科の魅力を発信している。今後もこの活動を継続し、多くの方に製造業に興味を持っていただき、応募者の拡大につなげていく。</p> <p>・特に就職率と関連就職率については、デュアルシステムの強みでもあるため、高いレベルを維持するよう努める。</p>	